

## 英語科学習指導案

日 時 平成 19 年 11 月 16 日(金)2 校時  
場 所 大槌町立大槌中学校 2 年 1 組  
男子 14 名 女子 15 名 計 29 名  
指導者 教諭 千葉 知恵子

### 1 単元名 Unit6 The story of Silent Night (New Horizon English Course2)

#### 2 単元について

##### (1)教材について

クリスマスをめぐる単元である。その中でもとくに「きよしこの夜」の誕生秘話が主眼となっている。S.O ではクリスマスイヴのブラウン家の情景を描写し、Dialog では部屋の中にあつた本についての会話がなされる。RFC では「きよしこの夜」が生まれたいきさつを述べている。大変心温まる内容で、暗唱にも適している。文法事項は存在を表す There is/are への肯定文・疑問文・否定文と、動名詞が目的語となったり主語となったりする場合の用法について学習する。There is/are 構文の形式上の主語は there で、意味の上では be 動詞のあとにくる「もの」である。その「もの」によって be 動詞が変わってくるという特徴がある。今までは主語によって動詞が変化していたのだが、there is/are のあとの名詞によって be 動詞が変わることに注目する必要がある。また動名詞が新出である。動詞の目的語になったり、主語になったりする。分詞との違いにも注目させながら表現の幅を広げるためにこの単元を設定した。

##### (2)生徒について

男女問わず話しをすることができ、明るい雰囲気生活している。諸行事には前向きに取り組み、お互いに尊重しあえる雰囲気もある。英語授業においては、教科書の音読には大きな声で積極的に取り組むが文字と音が結びつかなくなったり、基礎・基本が身につけていないため、50 分の授業にもなかなか集中できない生徒も多い。理解の差が大きいので、英語授業そのものに意欲を示さない生徒も少なくない。文法事項を定着させるときもひとつの活動に集中できる時間が限られているため、様々な活動を組み立てる必要がある。

4 月に行った NRT 結果は次のようになっている。

内容	本校正答率	全国正答率	全国比
聞くこと	72.9	81.0	90
話すこと	45.9	61.9	74
読むこと	49.5	59.3	83
書くこと	29.3	46.9	62

どの領域も全国比を大きく下回っており、普通の授業においても発展的な学習をするというよりはむしろ基礎基本をいかに定着させるかに重点をおいている。その中でも特に書くことについては苦手意識を持っている生徒が多く、意図的に授業の中で書く作業を取り入れるようにしている。

### (3)指導について

本時は There is/are～の初出である。ものの位置を聞いたり話したりしながら理解を促したい。また様々な音読パターンを取り入れることにより、まず耳で理解し、話すことでさらに理解を深め、書くことで定着させたい。そのためにも十分な口慣らしをしたり、できるだけ多くの英文を聞かせたりしたい。音読をインプット、書く活動をアウトプットととらえ、全員が書く作業に取り組むことができるように支援していきたい。また自分の部屋を英語で表現し、それを発表することによって英語学習への意欲につなげたい。

### 3 単元目標

#### 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

・英文の内容を読み取ろうとして熱心に聞いたり読んだりする。

#### 【表現の能力】

・There is (are)構文(疑問文と応答)を用いた英文を用いてもものの存在を表現することができる。

・動名詞を含む英文を正しく理解し、表現することができる。

#### 【理解の能力】

・教科書の本文の内容について、正しく読み取ることができる。

#### 【言語や文化についての知識・理解】

・話の展開や登場人物の気持ちなど必要な情報を正しく読み取ることができる。

### 4 指導計画

学習活動	時間	評価基準			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての理解・知識
The Story of Silent Night Starting Out There is (are)...	2 本 時  1/2		・There is (are)構文(肯定文)を用いた文を正しく書いたり、話したりすることができる。	・本文の内容を理解することができる。	
Dialog Is(Are)there ...?	2		・There is (are)構文(疑問文と応答)を用いた英文を書くことができる。	・本文(対話)の内容を理解することができる。	
Reading for communication 動名詞(目的)	2	・英文の内容を読み取ろうとして熱心に聞いたり読んだりしている。	・動名詞を含む英文を正しく書くことができる。	・教科書の本文の内容について、正しく読み取ることができる。	・話の展開や登場人物の気持ちなど必要な情報を正しく読み取ることができる。
Reading for communication 動名詞(主語)	2	・英文の内容を読み取るうとして熱心に聞いたり読んだりしている。	・動名詞を含む英文を正しく書くことができる。	・教科書の本文の内容について、正しく読み取ることができる。	
Listening plus6 クリスマスコンサ	1	・必要な情報を得るために、関心を持ちながら英文		・対話の内容を正しく聞き取ることができる。	

ート		を聞く。			
Speaking Plus4 道案内	1	・建物や場所を表す英語の名称などを熱心に聞こうとする。	・May I?/ Could you? 等を用いて、目的とする内容を聞き手に正しく伝えることができる。	・日本語の助けを借りながら、モデル対話の内容を黙読し、理解することができる。	・ right, left, first, second など道順を尋ねたり、教えたりする際のポイントとなる語句を正しく聞き取り、意味が分かる。
Multi Plus わたしの町	1	・間違えることをおそれずに、自分の町の様子をできるだけたくさん言おうとしている。	・紹介文の形式に則って正しく書くことができる。	・モデルの英文を読み、町の特色を正しく理解することができる。	・町の紹介をするのにふさわしい表現を知っている。
単元テスト	1				

## 5 本時の指導

### (1)本時の目標

- ・ There is / are の意味を理解し、使用することができる。
- ・ There is / are を使って自分の部屋を表現することができる。

### (2)具体の評価規準

	A 十分満足	B 概ね満足	C 努力を要する生徒への支援
・ There is (are)構文 (肯定文) を用いた文を正しく書いたり話したりすることができる	<b>【書くこと】</b> 自分の部屋について 4 文以上正しく書くことができる。 <b>【話すこと】</b> 自分の部屋について 4 文以上正確に話すことができる。	<b>【書くこと】</b> 自分の部屋について 3 文正しく書くことができる。 <b>【話すこと】</b> 自分の部屋について 3 文正確に話すことができる。	<b>【書くこと】</b> 自分の部屋について 3 文の英語で書けるように支援する。 <b>【話すこと】</b> 自分の部屋について英語で 3 文話すことができるように支援する。

(3)本時の展開

	学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価の観点
10	導入 1 あいさつ 2 Warm-up 3 課題設定  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">英語で自分の理想の部屋を表現しよう</div>	1 英語であいさつをする 2 簡単な英問英答を行う 3 本時の課題を設定する	元気にあいさつをする。  学習シートの配布
35	展開  5 練習  6 言語活動	4 文法機能の説明をする  5 定着を促す口頭練習を行う。  6 教師の指示に従って言語活動を行う。 自分の部屋を完成させる。 ・自分の部屋は前もって完成させておく。 ・隣同士で練習したあとに自分の部屋について作文をする。 ・数人の生徒に指名し、発表する。	・単数・複数の違いを理解させる。 ・場所を表す前置詞の確認をする。  ・バリエーションをつけてなるべくたくさん の口頭練習を行う。 ・There is/are を定着させる。  <b>【話すこと】</b> A 自分の部屋について 4 文以上正確に話すことができる。 B 自分の部屋について 3 文正確に話すことができる。 C 自分の部屋について英語で 3 文話すことができるように支援する。  <b>【書くこと】</b> A 自分の部屋について 4 文以上正しく書くことができる。 B 自分の部屋について 3 文正しく書くことができる。 C 自分の部屋について 3 文の英語で書けるように支援する。
5	終末  8 あいさつ	7 基本文を反復し、まとめとする。  8 英語であいさつをする	

目標 自分の理想の部屋を英語で表現しよう！

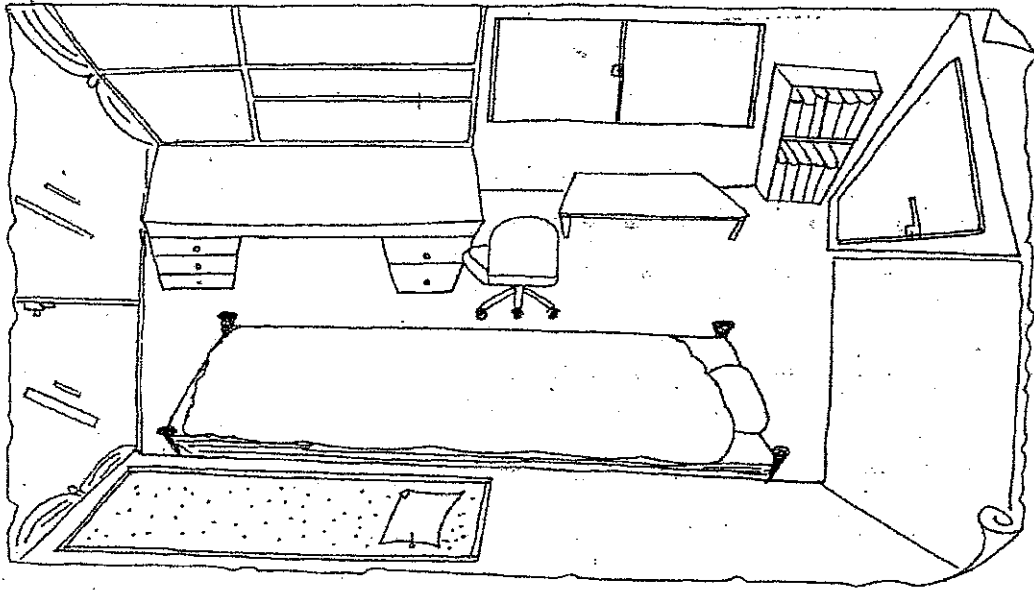
**Step1** となりの人の部屋を完成させましょう。アイテムは3つ以上描きましょう。

絵が苦手な人は、言葉で書いてもいいですよ。

\_\_\_\_\_ 's room

Class ( ) No. ( ) Name ( )

**This is my room**



**Step2** 自分の部屋について英語で説明しましょう。

A large rectangular area with horizontal dashed lines for writing.

自分の部屋について、一言英文を付け加えてみましょう。

今日の基本文を確認しましょう。

・(パソコン)

・(2冊のマンガ)

・(何枚かの写真)

【Check】適する be 動詞に○をつけ、全文の意味を書きましょう。

(1) There ( is / are ) a book on the table.

意味 \_\_\_\_\_

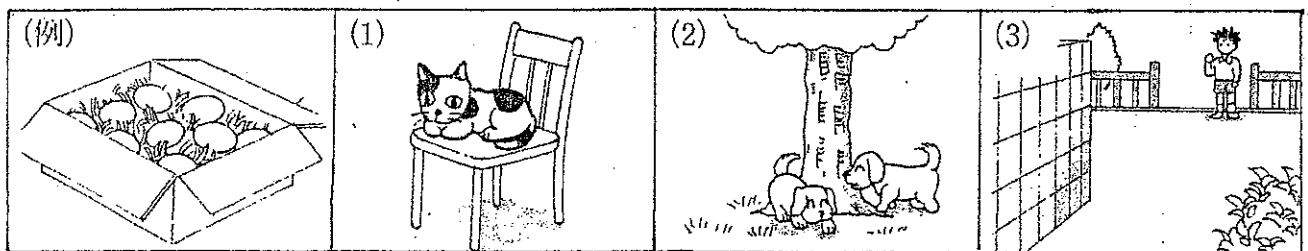
(2) There ( is / are ) three cats under the bed.

意味 \_\_\_\_\_

(3) There ( is / are ) many books on the desk.

意味 \_\_\_\_\_

【練習】次の絵にあうように \_\_\_\_\_ に適する英語を書きなさい。



(例) There are some eggs in the box. (箱の中にいくつかの卵があります。)

(1) \_\_\_\_\_ is a cat on the chair.

(2) There \_\_\_\_\_ two dogs under the tree.

(3) \_\_\_\_\_ a boy over there.